



雷丘

特集

県民ニュース

奈良を知ろう

暮らしに役立つ

おしらせ

巻第十四
 「雄略天皇」

倭王「武」雄略天皇

462年、大泊瀬幼武天皇(第二十一代雄略天皇)は、妃に桑の葉を摘ませ、養蚕をすすめようと考え、臣下である螺贏(すがる)に蚕を集めるように言いました。すると螺贏は誤って子どもを集め、天皇に献上しました。「蚕」と「子」が同じく「こ」と発音する語であったため、勘違いしてしまったのです。天皇は大笑いし、連れてきた子どもたちを螺贏自身で養育するように言い、少子部連という名を与えました。

また、あるとき天皇は、螺贏に「私は三諸岳(みもろやま)の神の姿が見たい。お前は力が強いので捕まえてこい。」と命じます。螺贏が三諸岳で大蛇を捕らえて天皇に見せたところ、その蛇は雷のような音を轟かせながら目を爛々と光らせたので、天皇は恐れてご覧にならず、蛇を丘に放させました。そして、その丘に雷という名を与えました。

また、「日本霊異記」には、螺贏(『日本霊異記』では栖軽)が亡くなった後、雷が落ちた場所に彼の墓をつくり、「雷を捕まえた栖軽の墓」と碑を建てました。すると雷は怒ってその碑を蹴り割ろうとしたところ、柱が割けたところに足が挟

子部神社

多坐弥志理都比古神社の境外摂社。祭神は小子部命。螺贏が子どもを養育した場所が飯高の付近とされており、子部の里といいました。この子部神社から100m程西にも同名の子部神社があり、小子部命を祀っています。



今年「記紀・万葉プロジェクト」集大成の年！イベント情報はHPでチェック！

2020年は『日本書紀』完成、古代の歴史に大いなる足跡を残した藤原不比等没後1300年の記念イヤーです。奈良県では2012年より推進してきた「記紀・万葉プロジェクト」集成年として、イベントで盛りあげていきます。

イベント情報は下記HPをご覧ください。30、31ページにプレゼントがあります！
 イベント情報はコチラ▶ www3.pref.nara.jp/miryoku/narakikimanyo/
 集大成に関してはコチラ▶ kikimanyo.info/1300year/

記紀・万葉
 おみくじ

